



大洲保育園

大洲保育園は昭和36年にへき地保育所として開設。昭和59年には(福)柏原保育協会大洲保育園に名称が変更され園児数41名でスタートしました。平成2年には60名の園児で賑わっていましたが、少子化による園児数減少によって来年3月に閉園されます。

議会だより や め

No.162 平成30年11月1日

- P 2 **議会から市へ提言** ~決算審査特別委員会~
- P 6 **ここが聞きたい!** 一般質問 **14人** の議員が登壇
- P 14 **調査研修を行いました** ~調査報告~
- P 18 **11月に議会報告会を開催します**

議会から市へ提言

～決算審査特別委員会～

9月
定例会

認定第1号

平成29年度八女市各会計歳入歳出決算認定について

決算を認定するにあたり、指摘・要望等を市に提言しました。

一般会計

① 循環型社会の形成を

推進する中で、八女市環境基本計画にも示されているとおり、廃プラスチックの分別及び生ゴミの堆肥化を調査研究し、早期に実施いただきたい。なお、廃プラスチックについては、世界的には脱プラスチックの流れにあるが、日本の方向性が見えない現段階では、ダイオキシン及び温室効果ガスの抑制という環境

② 健康寿命の延伸を

目指し、平成28年5月15日「スポーツ・健康づくり都市宣言」を発信したことは、たいへん意義のある、かつ重い事件と受け止めている。平成30年度から毎年、「スポーツ・健康づくりフェスタ」の実施を決定したことは、市民一人ひとりが健康に対する意識を高める契機

③ マイナンバーカード

は、大多数の市民が必要

④ 子育て支援総合施設

において、医師や臨床心理士等の専門職を配置し、保護者等からの相談に対し、専門的な対応ができる施設にしていきたい。

9月定例会を8月29日から9月21日まで24日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、11億8218万6千円を追加する一般会計補正予算、条例案など議案8件と平成29年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）で、いずれも原案どおり可決・認定しました。
一般質問は、14人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

対策の観点で、費用対効果も十分考慮し分別仕分けの研究・決定をお願いする。

になったと評価するが、健康増進と医療費削減の観点では、より積極的になり、健康診査を受ける環境づくりが大きな課題であり、健康診査受診率向上のためのあらゆる手段を実行いただきたい。併せて、市民ひとりスポーツを指すために、関係部署間の連携を強化し、スポーツを通じた健康づくりが広がるよう取り組んでいただきたい。

性を感じていないため、申請件数はわずかである。いずれは必需カードになるといふ前提のもと、当市としての具体的な方向性を打ち出していきたい。

決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員（24名）で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査を行います。

一般会計補正予算

11億8218万6千円を追加
歳入歳出予算総額367億8770万9千円

主 な 事 業	補 正 額 (千円)
子育て世代包括支援システム構築業務委託料	2, 3 7 6
河川・水路維持工事費	9 2, 0 0 0
黒木中学校屋内運動場長寿命化改修工事費	1 3, 1 0 0
災害復旧工事費・災害応急工事費	9 3 0, 8 0 0

八女市横町町家交流館

指定管理者決まる

指定管理者 八女福島観光協会

指定期間 平成30年10月1日～

平成33年3月31日



問 募集要項を配布されたのが、5月8日から15

日まで8日間であるが、申請を希望する事業者への広報不足で競争原理が働かないのではという思いがある。8日間という配布期間についてどう考えているか。

答 視察見学会等には応募者以上の業者が来られていたので、募集期間が短いことが理由で、1社の応募になったとは考えていない。応募期間については、今後応募者の都合も考慮し設定したい。

問 質問の回答日から申請期限までが23日間しかなく、事業計画書や収支計画書等の作成が、短期間でよく作成されたと思う反面、内容が安易になる恐れがあるのではないか。このようなスケジュールが一般的なのか、もっと時間をかけて提案書を練ってもらうようにすべきではなかったのか。

答 議会の議決等も考慮し10月1日からの指定管理の目標を立て、逆算してのスケジュールとなった。応募者には御苦労おかけしたと思うが、予算を速やかに執行したいということであった。



厚生

審査の主なもの

- 平成30年度八女市一般会計補正予算(第3号) (全員賛成で可決)
 - ・母子父子福祉費(備品購入費) 360万円
 - ・母子衛生費(子育て世代包括支援システム構築業務委託料) 237万円
- 平成29年度八女市各会計歳入歳出決算認定 (賛成多数で認定)

総務文教

審査の主なもの

- 平成30年度八女市一般会計補正予算(第3号) (全員賛成で可決)
 - ・学校建設費 1315万円
 - ・公民館費 181万円
- 平成29年度八女市各会計歳入歳出決算認定 (賛成多数で認定)

黒木中学校屋内運動場長寿命化改修工事について

問 工事の内容は。

答 平成29年度から平成30年度への繰越事業である。内容は、内外装の改修、電気設備・機械設備の工事に加え、鉄筋腐食対策等を行い、耐久性を高め、渡り廊下を改修し、2階からも直接アリーナに行けるようにする。

また、新たにミーティングルームやシャワー室を新設し、避難所としても対応できるようにする。

問 今回の補正は、バリアフリー対策としてのエレベーター設置工事の費用を計上している。

自治公民館建設事業費補助金について

問 今回の補正理由は。

答 今年6月、自治公民館の新設・修繕等の計画について調査し、雨漏りに

より緊急に修繕を要する2件の自治公民館改修にかかる補助金を計上した。

問 どこに対する補助か。

答 立花地区北山4区行政区井手口公民館の瓦替え等の一部改修工事と、上陽地区久木原行政区半沢公民館の天井張替・玄関雨漏り修理工事である。



工事中の黒木中学校屋内運動場

2名の方より計600万円の寄付金

問 寄付者からの使途に関する要望は。

答 子育て支援の充実にという事だった。

問 子育て世代包括支援システムとは、どういったものが。

答 子育て支援総合施設「やめっこ未来館」と関係課のパソコンのみに設定し、利用者に切れ目のない包括的な支援を行うために、妊娠前から子育て期までの相談事やアドバイザー・支援策等を記録してシステムでつなぐ。

関係課の担当職員が使用するものであり、市民からの閲覧等は考えていない。

これまで「ひまわり園」には公用車が無く、本庁の公用車を借りに行っていた。

また、緊急事態も起こるので、寄付金の一部を使用し専用公用車購入の予算を計上した。



やめっこ未来館

議会の動き

8月

- 3日 建設経済常任委員会所管事項調査
(立花町、黒木町、星野村)
- 8日 全員協議会
総務文教常任委員会
- 9日 会派制度調査特別委員会視察
- 22日 建設経済常任委員会
八女市東部土木組合との意見交換会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 平成30年第4回定例会(招集日)
全員協議会
議会報告会正副班長会議

9月

- 3日 本会議(一般質問)～6日
- 6日 本会議(議案審議)
予算審査・決算審査特別委員会全体会議
議会だより編集委員会
- 10日 委員会・分科会～11日
- 19日 予算審査・決算審査特別委員会全体会議
新庁舎建設特別委員会
- 21日 平成30年第4回定例会(最終日)
全員協議会
- 25日 公立八女総合病院企業団議会

10月

- 1日 福岡県南市議会議長会
- 3日 全員協議会
厚生常任委員会
議会報告会正副班長会
- 4日 新庁舎建設特別委員会視察
- 5日 議会だより編集委員会
- 10日 ダブレット端末利活用専門部会
会派制度調査特別委員会
- 11日 議会だより編集委員会
厚生常任委員会
- 12日 総務文教常任委員会
- 17日 福岡県市議会議長会
- 29日 議会報告会正副班長会

建設経済

審査の主なもの

- 平成30年度八女市一般会計補正予算(第3号) (全員賛成で可決)
 - ・農林水産業費 1923万円
 - ・土木費 9350万円
 - ・災害復旧費 9億270万円
- 平成29年度八女市各会計歳入歳出決算認定 (全員賛成で認定)

7月の豪雨で中山間地において多大な被害が

問 今回の被害状況はどうなっているか。

答 農地・農業施設災害報告は、合計で71カ所である。

農地の主な災害は、水田の畦畔崩壊や茶畑の法面崩壊で、農業用施設は黒木町木屋地内にある「ノ渡瀬堰(頭首工)」の堰本体と水路などが主な災害箇所である。被害総額は1億9500万円を見込んでいる。

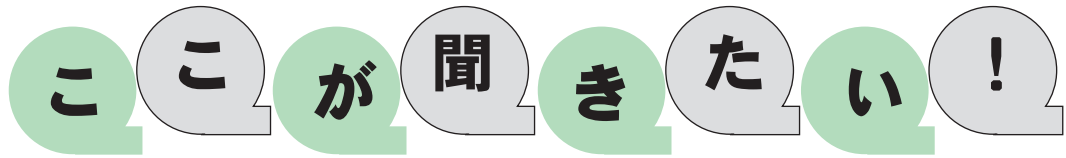
また、危険箇所については、維持工事において、星野村の吉城線における路肩崩壊及び法面崩壊で1億2500万円を計上している。

土木復旧費では河川及び道路の災害が合計48カ所。被害が大きいのとしては、立花支所管内の遠久谷・鹿子生線の法面崩壊や黒木町の剣持・森檜線の路肩被災がある。



遠久谷・鹿子生線の法面崩壊現場

算を計上し、毎年、維持修繕工事等に対応している。



一般質問

月 日	質問者	質問事項
9月3日 (月)	角 田 恵 一	1 空き家対策について
		2 古民家の活用について
	高 橋 信 広	1 防災・減災対策について
		2 都市計画マスタープランと立地適正化計画及び公共施設等総合管理計画について
	三 角 真 弓	1 将来に向けた財政運営をどのように考えていくのか
		2 31年度に向けた公共交通の在り方について
	樋 口 良 夫	1 鳥獣被害（いのしし）対策について
		2 公立八女総合病院の今後について
9月4日 (火)	大 坪 久美子	1 未婚のひとり親世帯の寡婦控除の適用について
	牛 島 孝 之	1 八女市の小中学校の安全・安心対策は
		2 母子生活支援施設の今後について
		3 農地取得時の下限面積緩和について
	田 中 栄 一	1 集落を流れる河川、俗にいう谷川の災害対策について
	樋 口 安次	1 市道の拡張について
2 トンネルの整備について		
9月5日 (水)	森 茂 生	1 税務行政について
		2 林業、森林について
		3 バイオマス発電について
	石 橋 義 博	1 ふるさと支援寄附金の受付における対応
	橋 本 正 敏	1 八女市の情報発信について
	小 川 栄 一	1 スポーツ振興について
2 公共交通網形成計画について		
9月6日 (木)	萩 尾 洋	1 安心・安全な通学路の確保について
	松 崎 辰 義	1 子どもの通学路の安全確保について
		2 学校給食について
3 「道徳科」について		

現在の空き家、古民家に対する認識及び今後の対応は



角 田 恵 一

答 防災・防犯などの観点から、大変重要な課題である



専門誌に記載されている八女市の古民家

- 問** 既存の空き家対策の状況は。
- 答** 再生活用モデル事業、改修等補助金、空き家バンクの施策については一定の効果が上がっている。今後とも継続していきたい。
- 問** 空き家対策等の推進に関する特別措置法の適用例はあるのか。
- 答** 特定空き家として所有者に勧告した時は、固定資産税の課税標準の特例の対象から除外することになっている。現在まで八女市においては、その事例はない。
- 問** 古民家活用について 古民家の実態把握は
- 答** 八女市の基準を別途定め空き古民家を含め、建物調査が必要であるので多くの時間を要する。
- 問** 国の制度活用は図れないか。
- 答** 国において、ソフト、ハード面での支援メニューがあるので、活用を検討していきたい。
- 問** 関係団体との連携をどうしていくのか。
- 答** 古民家の利活用に取り組んでいる民間団体（古民家再生協会）と情報交換をしながら、官民連携して調査研究を進めていきたい。



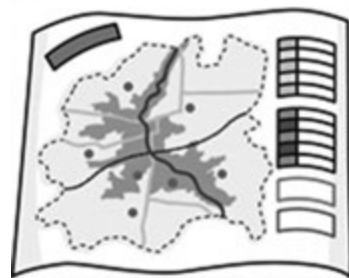
高 橋 信 広

講 厳しい財政でも防災対策は講じる

- 問** ハザードマップを更新する理由と内容は。
- 答** 平成27年5月の水防法改正により、矢部川の洪水浸水想定区域が見直され、今年4月にその区域が公表された。その見直しに準じて、矢部川沿い地域の11地区を更新することとした。
- 問** ハザードマップの更新に伴い、ICT活用による情報提供は考えているのか。
- 答** スマートフォンやタブレットで危険箇所や近くの避難所の位置が地図の情報サイトで表示されるなど、情報のウェブ化を計画している。

来春に配布する更新ハザードマップは、どの地域のことか

答 旧八女市3地区、旧黒木町6地区、光友地区、北山地区である



ハザードマップ

- 問** タイムライン（事前防災行動計画）を自主防災組織ごとに作成してはどうか。
- 答** 地域を自主防災組織をリードしていただくことを期待している。
- 問** 市として、地域で出来る簡単なタイムラインの見本を作つて普及できれば、大変良いと考えている。
- 答** 市として、地域で出来る簡単なタイムラインの見本を作つて普及できれば、大変良いと考えている。
- 問** 防災士養成講座のスケジュール及び防災士に期待する役割は。
- 答** 来年1月26日・27日の2日間で開催する。将来は地域の防災リーダーとして活躍できる方をお願いする。
- 問** 公共施設のあり方として、新庁舎建設とともに上陽支所及び星野支所を同時に考えれば、財源的にも軽減できるのではないか。
- 答** それぞれが老朽化を迎えているが、エリア別にマネジメントする必要がある。

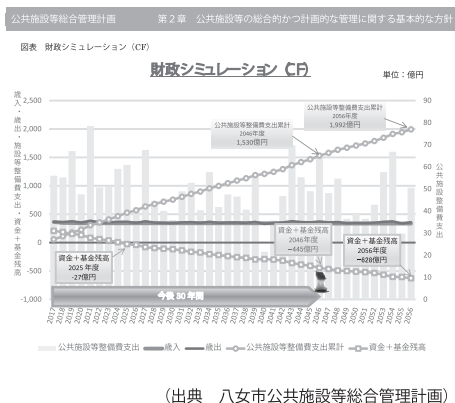
広域合併後8年経過したが公共施設等管理計画の進捗状況はどうか

答 個別施設計画の策定作業を各担当部署で進めている



三角 真弓

- 問** 公共施設の保有量と起債の償還はどうか。
答 平成24年3月31日現在402の施設が現在396となつている。地方債の残高は平成29年度末まで約270億円で、現在所有の全ての公共施設の維持管理費は約17億円余り、償還期間は最長12年間。
- 問** 今後生産年齢人口減少の中で、中部衛生・新庁舎・公立八女総合病院など新たな起債の発生を考慮しての財政運営はどう考えるのか。
答 本市は非常に自主財源比率が低いので依存財源に頼っている。今後30年間、642億円の縮減を目標に進めていく。
- 問** 今後介護保険料や国民健康保険料などの負担増をしないよう納税に對しても全庁的な取り組みや、議員も含め職員の駐車場代等も徴収すべきでは。
答 研究させていただく。
- 問** 平成31年度に向けた公共交通のあり方について。
答 今年度は乗合タクシー3台を小型化されるなど経費の削減等図られているが、乗合タクシーの年々の経費の増加、路線バスの補填を考慮し民生化する方向はないか。
答 現時点では考えていない。

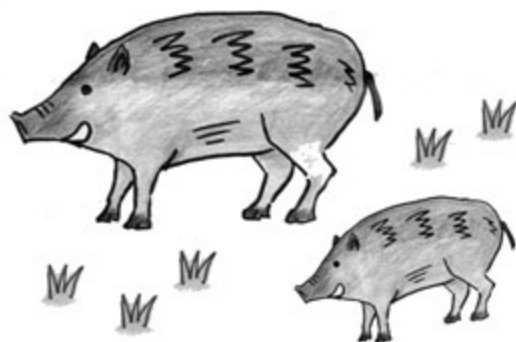


- 問** 昨年度の捕獲数は。
答 2892頭である。
- 問** イノシシの増加による農作物の被害で、離農する人もいる現状の中、猟友会会員数は高齢化等により減少が予想される。今後、市民に免許取得を推進すべきであるが、支援策は。
答 事前予備講習会のテキスト代、資料代等の助成をしている。
- 問** 市民が加工施設を検討する際、八女市新規創業・新事業展開補助制度を活用出来るものか。
答 活用出来る。
- 問** 捕獲したイノシシの処理に困っている現状が
答 活用出来る。



樋口 良夫

- 問** 捕獲の強化策として専門の担当職員や、生熊に詳しい学者や大学・IT技術の活用等市民との協働プロジェクト発足は。
答 肥料化においては、今後勉強していきたい。
- 問** 肉骨粉として肥料会社に働きかける考えは。
答 担当職員の設置は厳しい。県と緻密な協議会を立ち上げ対策を行う。



田畑のギャング イノシシ対策は？

答

市単独での建設、運営はリスクが高く、県に要望する。

イノシシの食肉は、ジビエ料理として需要が高いが加工施設の建設は

未婚のひとり親世帯にも、寡婦と同じ適用を実施していただきたい



大 坪 久 美 子

答 保育料などの算定については、みなし適用とする

問 同じひとり親でも、離婚や死別と違って未婚だと福祉サービスの料金や給付額で不利な扱いを受ける状況である。国でも動きがあり、認可保育所などの保育料がみなし適用でサービスが実施されることとなった。八女市は、この適用を実施されるのか。

答 子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、保育料などの算定については、平成30年9月から寡



問 同じひとり親でも、離婚や死別と違って未婚だと福祉サービスの料金や給付額で不利な扱いを受ける状況である。国でも動きがあり、認可保育所などの保育料がみなし適用でサービスが実施されることとなった。八女市は、この適用を実施されるのか。

答 児童扶養手当の算出では、直近の平成30年7月現在で全受給者608人のうち、未婚のひとり親は61人である。

問 八女市で未婚のひとり親の家庭は、どれ程おられるか。

答 児童扶養手当の算出では、直近の平成30年7月現在で全受給者608人のうち、未婚のひとり親は61人である。

問 本市が把握している該当者については、個別に申請書を送付することも、広報誌や窓口で制度の周知を図っていく。

問 給食室については、同じ環境で仕事ができるようにすべきではないか。

答 一挙にやった方がいいが、財政的な問題があり十分検討させてもらいたい。

問 通学の安全、安心のためにICタグの導入についての考えは。

答 保護者の安心という面では確かに効果があると考えているので、今後も研究をさせていただきたい。

問 母子生活支援施設の今後について

答 入所の決定は誰が行っているのか。

答 最終的な決定権は八女市にある。

問 退所する場合の決まりはどのようになっていくのか。



牛 島 孝 之

答 特別教室及び給食室のエアコン設置について八女市の考えは文科省の補助金の状況を見ながら検討していく

空調設置状況

	普通教室	うち空調整備済	特別教室(フットサル場等除く)	うち空調整備済	給食室	うち空調整備済	備 考
福 島 小	17	17	11	4	1		
長 峰 小	14	14	11	4	1	1	
上 妻 小	14	14	10	4	1	1	
三 河 小	8	8	11	3	1	1	
八 幡 小	8	8	8	3	1	1	
川 崎 小	10	10	9	3	1	1	
岡 山 小	7	7	10	3	1	1	
山 本 小	15	15	11	3	1	1	
黒 木 小	14	14	8	5	-	-	黒木学校給食センター
黒 木 西 小	7	7	8	3	-	-	黒木学校給食センター
筑 南 小	9	9	7	2	1		
立 花 小	11	11	9	6	1	1	
矢 部 小	4	4	7	3	1		
星 野 小	6	6	6	3	1		
小 学 校 計	144	144	126	49	12	7	
福 島 中	12	12	19	3	1	1	
南 中	8	8	16	5	1		
見 崎 中	7	7	12	4	1		
西 中	9	9	11	3	1	1	
黒 木 中	7	7	18	3	1	1	黒木学校給食センター
筑 南 中	6	6	14	6	1		
立 花 中	6	6	12	5	1	1	
矢 部 中	1	1	15	13	1	1	
星 野 中	4	4	10	4	1		
中 学 校 計	60	60	127	46	9	5	
上陽北学園(小)	5	5	2	2			
上陽北学園(中)	5	5	11	4	1	1	
義務教育学校計	10	10	13	6	1	1	
小中合計(室数)	214	214	266	101	22	13	※黒木学校給食センターは黒木中に算入

問 あり方検討委員会の答申に対してどのような

答 18歳までの児童であるが、大学生についても同じように児童という形で判断している。

問 あり方検討委員会の答申に対してどのような

答 検討がされたのか。

答 結論を出すのが多少遅れているが、どういった向が入所を希望する母子家庭にとって一番良いのか検討していきたい。

近年の異常豪雨に対する山間集落 河川の災害予防と対策をどう考える



田 中 栄 一

答 治山・砂防施設、林道等の点検・維持・管理に努めている



土石により通行止めとなったR442号

問 集落の谷川の災害復旧はどうしているか。

答 護岸が1m未満の谷川は公共土木施設災害復旧事業に該当しない。必要に応じて単独事業や農業用施設等災害復旧事業で対応している。

問 市管理林道は側溝などを定期点検すべきではないか。

答 梅雨前や大雨後に点検し、法面の伐採、排水施設の土砂撤去、落石除去などを予算の範囲内で実施している。

問 砂防ダムの維持管理はどうしているか。

答 地域の情報により、流木や堆積土砂の搬出などを県に要望している。

問 設置個所を把握し、定期的に点検する必要があるのではないか。

答 現在把握していない。今後、県と協議を進め把握に努めたい。

問 危険度の高い地域への砂防ダム設置の考えは、必要に応じ県と協議すべきか。

ついでに。

その他、伐採終了後の土砂・枝葉の片付けの指導状況について質した。



樋 口 安 癸 次

市道の拡張について

問 酒井田地区の道路を4メートルに拡張することについてどうなっているのか。

答 道路改良工事について、地元等の要望を受け、現状把握・施工判断・調査測量・予算措置・事業実施という流れで進めている。

また、拡幅の際、道路用地及び補償物件についても地元関係者の同意と協力が不可欠であると考えている。

今後、地元行政区の意見を聞いて対応していく。

今後、地元行政区の意見を聞いて対応していく。

白木地区と熊本県和水町間のトンネルはど
うなっているのか

答 国及び福岡・熊本両県への要望活動に努める



トンネル整備の推進看板

トンネルの整備について

問 白木・和水町間の1700メートルのトンネルはどうなっているのか。

答 本路線の整備については、本市と和水町で構成する玉名八女線道路整備促進期成会を通じて、福岡・熊本両県に要望活動を行うとともに、期成会

事業としての相互のイベントに参加し、交流を行っている。本市としては、今後ともトンネル整備とあわせ、前後の道路改良の早期着工に向け、国及び福岡・熊本両県へさらなる要望活動に努めていく。

森林管理法とワンセットで森林環境税が導入されている。その内容は



森 茂 生

答 住民税均等割りとして、国民1人当たり年額千円徴収する

税務行政について

問 平成29年度差押件数640件で、その内、預貯金の差押が377件行なわれている。差押禁止の基準は1人世帯で、月10万円となっている。以前月5万円程度の預金で全額が差押されているが、違法な差押ではないか。

答 差押することは厳しいと感じている。

林業、森林について

問 今度の森林管理法は、非常に強権的な内容になっている。森林所有者の管理責任を定め、管理できない場合は市に管理を委託させるが、委託に



同意しない所有者には手続きを取れば委託したものとみなし、木を伐採できる。所有者不明の山林は公告し6ヶ月以内に異議がなければ市が管理できる。この管理権は最大5年間続くが、どの様に認識しているか。

答 意欲の低い森林経営者は、市が意欲のある人につなげ、荒廃森林は市が管理する。

バイオマス発電について

問 バイオマス発電所の進捗状況は。

答 今後造成費用など算出し採算性を検証予定。

商工会や商工会議所との交流懇談会において、八女市の取り組みが十分でないという声があったが。

問 返礼品の事業者を訪ねて色々話をしている。その中には商工会議所も含まれている。

答 課長以下現場は対応しているが、部長もしくは担当副市長に対する不満の表れではないか。

問 幅広く市内の事業者に募集する方向で検討を行い、ふるさと支援寄附の仕組みの詳細な説明を協力業者を募集し、商品提案してもらいながら、品物の充実を図っている。

答 幅広く市内の事業者に募集する方向で検討を行い、ふるさと支援寄附の仕組みの詳細な説明を協力業者を募集し、商品提案してもらいながら、品物の充実を図っている。

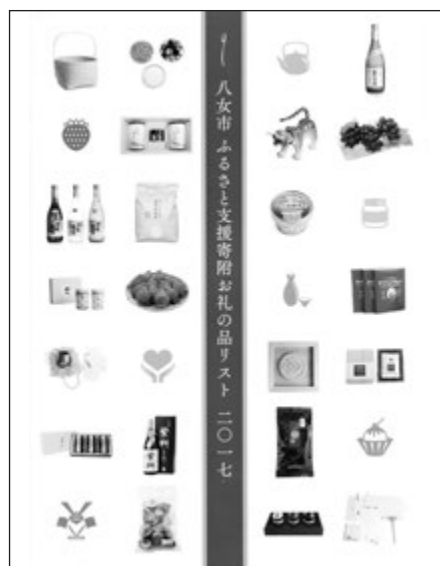


石 橋 義 博

ふるさと支援寄附金の受付における対応は

答

市のホームページなどで募集、登録業者とは勉強会等を開催し取り組んでいる



返礼品カタログ

今後、更に協力業者の拡大に努め協議を行いながら返礼品の充実に取り組んでいく。

問 建設経済委員会による総務省での研修において、ふるさと支援寄附金の仕組みの詳細な説明を受け、市民の所得向上を図れるように努力している。

答 市も真摯に努力してもらいたい。今後門戸を開いて進めていきたい。

多忙な方への対応として、就業時間外の問い合わせはどうしているか

答 ホームページ最下部に、問い合わせ等のフォームがある



橋 本 正 敏

問 LINE、フェイスブック等SNSの活用は。現在、子育て支援課、こども未来係のLINE @がある。他市の状況など、これからも研究していく。

答 LINE、フェイスブック等SNSの活用は。A等と上映を協議している。資金としてのふるさと納税の基金活用については、担当課と協議していく。観光としては、バスツアー等が成り立つか研究が必要。

問 観光地には、無料で高速通信のWi-Fiの設置が必要ではないか。

答 費用対効果を考慮し、できる限り積極的に設置するようにする。

問 映画「野球部員、演劇の舞台に立つ」の今後

の利活用は。



映画「野球部員、演劇の舞台に立つ」のワンシーン

問 「市民ひとりスポーツ」とはどのような意味か。

答 競技スポーツに限らず健康づくりのために毎日習慣としてもらう運動や体操も含めたところで「1スポーツ」である。

問 現在の実施状況は。

答 チャレンジデーをはじめグラウンドゴルフ大会、更に、今年には障がいのある方をはじめとして、誰もが参加できるスポーツ体験イベントのアダプト・プラススポーツ交流会開催の予定がある。



小 川 栄 一

「市民ひとりスポーツをめざす」都市宣言の具体的な施策は何か

答

平成28年度からチャレンジデー事業に取り組んでいる



八女市総合体育館

問 体育施設の統廃合と建て替えの時期では。

答 本年度、八女市体育施設等管理計画策定委員会を立ち上げ、取りまとめる。

問 最近県内60市町村対抗駅伝大会で八女市のチームが8位というすばらしい成績を挙げられたが練習場に困ったと聞く。

答 陸上競技場新設計画は。望も県と協議したが、市民の公園としてよい環境が出来あがっているのでは、今は考えにくい。

問 まだ考えの段階でお話できないが、新たな計画が念頭にある。なんとか実現できないかと思つて

いる。

安心・安全な通学路を実現するためのポイントは



萩 尾 洋

答 各機関との連携を図り、情報を共有しながら推進していく



問 警察や道路管理者との連携協議は、どのような形で、年に何回行っているのか。

答 各関係機関で構成する八女通学路安全推進協議会というものを設け、年に一回開催している。

問 要望、あるいは危険箇所に対する改善策施行後の検証は随時実施しているのか。

答 要望箇所については、過去2年間で具体的に施したのが40カ所で3割程度。その他は、様々な規制・条件があるので、継続課題として各関係機関へ働きかけをしている。

問 今後の安心・安全確保のための施策をどのように進めていくのか。

答 本年6月に、国の登下校時の子どもの安全確保に関する登下校防犯プランで示される各施策の内容を踏まえながら、社会全体で子どもの安全を守る取り組みを推進していく。

問 遠距離通学児童に対し、登校時だけでもスクールバスを運行できないか。地域繁栄にも効果があると思うが。

答 交通安全対策の観点からスクールバス運用は、現段階では難しいと考えている。

将来の八女市を担う子ども達が、安全で安心して通学できる状況を早期につくっていただきたい。



松 崎 辰 義

問 調査については、専門知識も必要だと思うが。

答 県と八女県土整備事務所等の協力をお願いしている。

問 危険ブロック塀の撤去やフェンス等の新設に補助制度の創設がなされたと聞いているが。

答 県の9月議会に予算が上程されており、結果を待つて対応したい。

問 各区長とも連携し、対応する必要があるのではないかと。

答 個人情報保護もあるので慎重におこない、何らかの形で共有を図りたい。

問 給食費の第2子・第3子についての無償化について

指定通学路における危険ブロック塀の調査と対策はどうなっているのか

答

調査結果を取りまとめて関係機関と連携し対応をする



地震によって崩壊したブロック塀 (八女市外)

検討はどうか。なければならぬので、まだ結論には至っていない。

答 第2子以降を対象とした場合8000万円を超える予算が必要。第3子のみ対象にした場合は1400万円を超える予算が必要となる。

財政的な問題と費用対効果など総合的に検討し

地域の医療・福祉・健康を守る組織づくりは

公立松任石川中央病院・富山県南砺市・富山市

厚生常任委員会 8月1日～3日

はくさん 白山市

“まちづくり”の中心的な役割を担う病院に

公立松任石川中央病院

病床数は305床と公立八女総合病院とほぼ同じであるが、延床面積が約4万㎡と広く、中心市街地の一角にあつて利用者にとって利便性が良い。収支状況は、平成28年までの20年間で平成9年を除いて黒字が続いている。そこには経営専任の副企業長を置き、経営力を強化してきたことで、継続的な設備投資ができ、手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入

入をはじめ高度医療体制を構築している要因でもある。また、医師はほぼ100%が金沢大学からの派遣であるが、多くの病院が抱えている医師不足には無縁のようである。現在は、医療・福祉を軸にした「まちづくり」を目指し、行政機関と福祉関係機関とともに「地域医療安心安全プロジェクト」を立ち上げ、ハード面の整備も含め、10年先を見据



公立松任石川中央病院

なんと 南砺市

南砺市型「地域包括ケアシステム」とは

平成29年1月に「南砺地域包括ケアセンター」を開設し、市民のニーズに応えられる一体的・体系的に提供できる施設とした。地域包括ケアの前提となる「自助・互助・共助・公助」の役割分担を明確にし、特に「互助」を進

めるためには人材育成が重要であり、「地域医療・地域活性化マイスター養成講座」を通して300名のマイスターを育成している。



南砺市にて研修を受ける委員

富山市

3人の元看護師によって

国が動いた！

平成5年、3人の元看護師が「このゆびとこまれ」を開所し、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる人を受け入れたことから「富山型デイサービス」と呼ばれている。当初は行政からの支援は一切なかったが平成8年から連携が始まり、いくつかの制度創設等を経て平成18年10月から全国展開となった。事業者は平成27年で富山県を中心に全

国に約1500カ所という広がりを見せている。この「富山型デイサービス」こそが、国が進めている「地域共生社会」の契機になっている。



富山市にて研修を受ける委員

八女市にどう生かす

公立松任石川中央病院は運営形態及び病床規模が公立八女総合病院と同等であるが、何か空気が違っていた。病院でありながら勢い、元氣、明るさといった雰囲気が印象的であった。改めて、公的機関による真の高度医療が提供できる「自己完結型」の総合病院を目指す必要性を強くした。

南砺市の地域包括ケアシステムと健康づくりにおいて、市民からの人材と育成を力点に置いているが、当市としても健康づくりにおける人材育成と組織作りは検討すべき課題と考える。また、富山型デイサービスについては、全国的に益々拡大すると思われるが、意欲ある事業者への情報提供を行うことが重要と考える。

国土交通省・総務省・農林水産省で研修

建設経済常任委員会

7月30日
～8月1日

国土交通省

道路維持関係

補助金について

主な道路事業として、国道3号吉田交差点改良など直轄で4事業、県道八女香春線合瀬耳納工区など県による8事業を行うこと。八女市内は、交通安全対策が不十分であり、道路整備の必要性は認識している。

総務省

農林業振興に係る携帯電話の不感地域解消について

携帯電話等エリア整備事業は、地理的条件が不利な地域において地方公共団体が携帯電話等の基地局施設を整備する場合の補助制度である。団体において設置要望箇所を定め、通信事業者の参加、電力事業者の協力を得て申請を行う必要がある。電波法に基づく財源のため査定はない。基地局施設が、わずか数万円の負担で設置された事例もある。

農林水産省

農業を取り巻く情勢と今後の農政について

人口減少や高齢化に伴い、国内の市場規模は減少の可能性がある。一方、世界の農産物市場は拡大している。この状況を踏まえ、農林水産業の国際競争力を強化し、輸出産業への成長を目指した対策の構築が急務である。

【新たな米政策】
行政による生産数量目標の配分を今年度から廃止すること、生産者の経営判断で、生産する量や作付方針を決定でき、経営の自由度が拡大される。

【中山間地域振興策】
中山間地域の人口は全国

の約1割であるが、総土地面積の約7割、農業産出額と耕地面積の約4割占め、我が国農業・農村の中で重要な役割を果たしている。

【キウイフルーツの品種改良】
農研機構において、耐病性品種の開発に取り組んでいる。

多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度・農地中間管理機構関連整備事業で支援している。

【八女市にどう生かす】
国交省では、公共事業関係費が従前に比べて半減しており、長寿命化工事などの維持修繕費は増額、改築費等は減額されている。国土の強靱化や地域振興のための道路整備は必要であり、十分な予算確保のため、世論を動かす活動の要請を受けたので、今後とも国會議員や県議会議員への更なる要望活動が必要と考え、携帯電話等の不感解消は、安全安心な暮らしとともに農林業の振興にとって、喫緊の課題であり、早急な補助事業への取組みが必要である。

農水省関係では、新たな米政策が開始され、生産者の意思が反映できる良策であると感じている。中山間地域の農業は、お茶または果樹の栽培が主体となる。農地中間管理機構関連農地整備事業の運用の上で、面積要件が緩和されることにより、八女市では更に活用しやすい事業になることを期待している。

今後とも、地域の現状に即した事業等の研修は、市の振興発展に必須であると考えている。



県営中山間・農用地開発整備事業現場
(立花町山下地区)



国土交通省で説明を受ける委員

将来を担う子どもたちに

ふる里教育を

〈総務文教常任委員会現地調査〉

7月18日、学校訪問を行った。今年は①星野小学校、②星野中学校を訪問した。まず星野小学校は現在の児童数が1年生19名、2年生17名、3年生18名、4年生13名、5年生10名、6年生22名の合計99名。そのうち山村留学生在が8名である。今年の学校教育目標は、「自ら学ぶ力と豊かな心を持ち、たくましく生きる星野の子どもの育成」で特色と

しては、山村留学生在が30年程続いていて現在8名来ている。遠くは北海道から。一昨年は沖縄県、埼玉県からも来ている。また放課後学習に取り組んでおり、週に1回程度、地域の方に来ていただき寺子屋学習等を実施している。

学習で地域を深く知り愛する子どもを育てるために、味噌づくりや、いっかげ面や風流を調べたり地域の木を使った工作をしたり、お茶の淹れ方、抹茶の挽き方を学習している。5月には、小学校と中学校の合同運動会を行い、保護者アンケートを取ったところ、すこく良かったとのこと。

調査を終えて

昨今郷土愛や母校愛が希薄になっていく。ふる里学習や小中連携は地域に溶け込んだ郷土愛が育まれる教育となっていく。

市内福祉関連施設の

現状を視察

〈厚生常任委員会現地調査〉

7月13日に八女市社会福祉協議会が開設した福祉生活支援室「ほっと館」及び上横山福祉会が運営する「運の実園」などを視察した。

●ほっと館
ほっとかな場所

ほっと館
ほっとかな場所

ほっと館
ほっとかな場所

4月に開設した「ほっと館」はフードバンク事業やフリースペースを確保して、誰でも気軽に使える、立ち寄ることが出来る居場所づくりを提供している。フードバンクでは、規格外や余剰品として処分される食品を必要とされる方へ届ける活動を行い、子ども食堂などが利用されている。またフリースペースでは外出する機会が少ない方や人と話すきっかけが欲しい方が「ほっと

息でいる場所・悩み事への相談支援の場所として利用されている。充実した生活で

明日への希望を

上陽町上横山から馬場に移転した上横山福祉会は、障害者支援施設「運の実園」「運の実団地」多機能型事業所「ワークスペース運―Reer―」などの福祉関係施設を運営している。

「運の実園」では、障害を持っていても「その人らしい」生活が送れるよう寄り添い支えている。

「運の実団地」では、利

調査を終えて

福祉政策は多様で柔軟性のあることが求められる。生活弱者に対して、寄り添った思いやりのある政策が実現されるようこれからも行政に求めていく。



①星野小学校



②星野中学校



フードバンクコーナー

豪雨災害の現地調査

〈建設経済常任委員会現地調査〉

8月3日、西日本豪雨

による市内の災害現場の視察調査をした。

①立花町内の市道遠久谷・鹿子生線の50mにわたる、法面の崩壊を視察した。



①市道遠久谷鹿子生線崩壊現場

②黒木町木屋地内の、一ノ渡瀬堰（頭首工）本体の3分の2崩壊を視察した。



②黒木町木屋地内の一ノ渡瀬堰

③星野村内の林道古城線2力所被災のうち、35mにわたる法面の崩壊箇所を視察した。



③星野村の林道古城線崩壊現場

調査を終えて

「平成30年7月豪雨」と名付けられた集中豪雨は、6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で甚大な災害となった。被災された方々にお見舞い申し上げます。市内においては、人的被害はなかったものの、大小様々な被害を受けた。今定例会においては、災害復旧費補正後、計約11億円の予算を承認した。

いつ、どこで被災するか分からない今日、あらゆる情報を常に意識して取り入れることが求められる。また、「自分の身は、まず自分で守る」を心がけたい。6年前を思い出す災害である。一日でも早い復旧を望む所存である。

人事案件

人権擁護委員

次の方を適任と認めました。

樋口京子氏

人権擁護委員とは

この制度は、地域住民の中から人格見識の優れた方を選び、その協力を得て、日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくという考えから設けられたものです。法務大臣から委嘱されます。

公平委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

大津山篤氏

公平委員会委員とは

公平委員会は、3人の委員で組織され、任期は4年です。主な職務は、職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する措置要求などを審査判定します。

議会報告会を開催します

この議会報告会は、市民のみなさんと議員が自由に情報や意見を交換することで、議会の活動状況や結果を知ってもらうとともに、議会活動等に対するご意見、提言により議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくりに活かしていくため開催するものです。

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。

地区名		月日	開始時間	会場	担当
立花	光友	11月7日(水)	19:00	立花市民センター イベントホール	2班
	辺春				
	北山				
	白木				
矢部	矢部	11月8日(木)	19:00	矢部公民館	1班
黒木	黒木	11月9日(金)	19:00	黒木開発センター 大ホール	2班
	豊岡				
	串毛				
	木屋				
	笠原				
大淵					
上陽	上陽	11月16日(金)	19:00	上陽公民館	2班
旧八女東部	長峰	11月20日(火)	19:00	おりなす八女 はちひめホール	1班
	上妻				
	川崎				
	忠見				
旧八女西部	福島	11月21日(水)	19:00	おりなす八女 はちひめホール	3班
	三河				
	八幡 岡山				
星野	星野	11月22日(木)	19:00	星野支所 大集会室	3班

班名簿

1班	2班	3班
◎堤 康幸 (建設経済)	◎中島 信二 (総務文教)	◎小川 栄一 (厚生)
○三角 真弓 (厚生)	○角田 恵一 (厚生)	○寺尾 高良 (総務文教)
樋口安次 (建設経済)	松崎 辰義 (建設経済)	井上 賢治 (総務文教)
森 茂生 (総務文教)	吉田 達志 (建設経済)	栗山 徹雄 (建設経済)
樋口 良夫 (厚生)	服部 良一 (総務文教)	中島 富定 (建設経済)
栗原 吉平 (総務文教)	萩尾 洋 (厚生)	井本 政弘 (厚生)
牛島 孝之 (総務文教)	伊井 渡 (厚生)	大坪久美子 (総務文教)
石橋 義博 (建設経済)	橋本 正敏 (建設経済)	田中 栄一 (厚生)
高橋 信広 (厚生)		

◎：班長 ○：副班長 カッコ内は常任委員会を記載

9月定例会で審議した議案の結果

9月定例会で審議した議案の賛否

○賛成 ●反対

議案番号	議案内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
報告第4号	専決処分について（事故による損害賠償）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	株式会社クリエイトやべの平成29年度決算及び平成30年度事業の計画の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	一般財団法人星のふるさとの平成29年度決算及び平成30年度事業の計画の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第7号	一般財団法人秘境柚の里の平成29年度決算及び平成30年度事業の計画の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第8号	一般財団法人FM八女の平成29年度決算及び平成30年度事業の計画の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第9号	平成29年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第10号	平成29年度八女市簡易水道事業費特別会計予算継続費精算報告書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	専決処分について（平成30年度八女市一般会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	八女市税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	中の井水利委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	平成30年度八女市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	平成30年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	公平委員会委員の選任について《大津山 篤》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成29年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成29年度八女市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について《樋口 京子》	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
花宗用水組台議会議員の補欠選挙《牛島 有一》	当選（指名推選）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

報告事項のため採決はありません

議長職のため採決には加わりません

スマートフォン・タブレット端末でも 議会中継を見ることができるようになりました。

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後4日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。スマートフォン及びタブレット端末でも見ることができるようになりましたので、ぜひご覧ください。

<http://www.city.yame.fukuoka.jp>



議会を傍聴しませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

次回定例会 11月28日(水)予定 立花庁舎議場 午前10時

今年度の夏はとにかく暑かったですね。気温は半端ない観測史上最高41.1度を記録した埼玉県熊谷市を筆頭に40度超えが10都市を数えました。気象庁は25度以上を5度ずつ上げる度に「夏日、真夏日、猛暑日」と定義していますが、40度以上は特にありません。一部スマホが使用している酷暑日、又は炎暑日はご存知ですか。

日本列島は6月から9月にかけていくつも大規模災害に見舞われました。大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、数々の台風です。被災者の方々へお見舞い申し上げます。共にがんばりましょう。

これからの自然災害は頻発すると考えられますが、八女市は平成24年の豪雨災害を経験し、市民の防災意識、準備は大変向上していると思えます。

聴者の声

～9月定例会～

議会を傍聴されたみなさんの声を一部ご紹介します。(原文のまま記載)

○やはり、なるべく市議会の傍聴をすべきだと改めて思いました。八女市の市民として学習すべきことが多々あるなあと思いました。なるべく機会を見つけていきたいと思います。(60代・女性)

○質問に対するの答弁席までに時間がかかっているのので、事前質問が出されているので答弁もある程度わかっているだろう。誰が答弁するかも予想できるはず。答弁席の隣に移動して待機したら時間の短縮になるのではないですか。難しい部分もあるかと思うけど、行う価値はある。(60代・女性)

(回答)
ご指摘のあった事項については、検討させていただきます。

編集後記



ちゃめお茶娘

今年の夏はとにかく暑かったですね。気温は半端ない観測史上最高41.1度を記録した埼玉県熊谷市を筆頭に40度超えが10都市を数えました。気象庁は25度以上を5度ずつ上げる度に「夏日、真夏日、猛暑日」と定義していますが、40度以上は特にありません。一部スマホが使用している酷暑日、又は炎暑日はご存知ですか。

市民の皆様がこの議会だよりを読まれる頃にはきっと爽やかな秋日和が続いていることを期待しています。

中島 信二

発行責任者	議長	川口 誠二
議会だより編集委員会	委員長	田中 栄一
	副委員長	堤 康幸
	委員	松崎 辰義
	委員	大坪 久美子
	委員	中島 信二
	委員	服部 良一
	委員	伊井 渡
	委員	高橋 正敏
	委員	橋本 敏

